

令和7年度 第6回

日南市教育委員会

会議録

令和7年9月19日(金) 午後3時から
日南市役所別館2階会議室5

- 1 会議の名称 令和7年度教育委員会 第6回会議（定例）
- 2 会議日時 令和7年9月19日（金）
午後3時00分から午後3時55分まで
- 3 出欠確認
 - （1）出席委員 都甲政文、別府信一、八木真紀子、佐藤泰信、谷口智子
 - （2）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課課長
学校教育課管理係長
学校教育課管理係主任主事
- 4 場所 日南市役所別館2階会議室5
- 5 傍聴者 1名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和7年度第6回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【鬼束部長】
「事務局は、全員出席です。」

【都甲教育長】
「本日傍聴の方は1名ですね、よろしくお願いします。」
- 8 活動報告
 - （1）教育長活動報告
【都甲教育長】

・8月23日、警察音楽隊コンサート。南郷ハートフルセンターでありました。結構席も埋まっていたよね、78%くらいでしたかね。見に行かれましたか。さすが警察音楽隊で、途中ちょっと休憩があって、詐欺についての注意喚起の短い講話がありました。15分くらいでしたかね。なかなか楽しい会でした。

・続きましては9月1日、局長ヒアリング。中部教育事務所所長と人事に関する話をしました。

・そして9月2日からポーツマスに行かせてもらいました。飛行機でアメリカまで12時間、途中乗り継ぎもあって15,6時間だったんですけども、ポーツマスに実際行ってみて、やっぱり良いですね。日南は小村寿太郎が全権で行ったってことでやってますけど、ポーツマスはあの町で、スポーツマスの交渉が行われたことに対する誇りを持ってるんです。だから代々言い伝えていくわけですね、うちの町ではこういうものがあったんだよと。セオドア・ルーズベルトっていう大統領がいたんですけど、ロシアと日本が戦争して条約交渉する時にどこがいいだろうかと言って、ポーツマスのすぐそばの海軍工廠っていう潜水艦を作る工場とかあったんですけど、そこでやっています。その建物が今も残っていてですね、そこでやったと、実際。今もちゃんと残してくれていて、日本代表団が相談した部屋も残ってるんですよ。セオドア・ルーズベルトはこの功績でノーベル平和賞をもらったらしいですよ。その当時の新聞を見ると、一面にピース「平和」って書いてある。そういうのもあって、今回はニュー・ハンプシャー州っていう州なんですけども、そこがこの宣言をしてくれて、その州の議事堂とかに行ったらうちの市長も挨拶とかしたわけなんですけども、手厚いなあとか、やっぱりちょっと温度差が日南より温度が高いなあと思ってですね、そういうことを感じたところでした。私もずっと自分でこう、歴史ではポーツマスとか、小村寿太郎とかいうのを習ってきたわけなんですけども、この立場になってラッキーにも40周年という形で巡り合わせて行かせてもらってですね、とても良い経験でした。皆さんももし何か行く機会があったら行っていただけたらと。とても良いので。日本で言えば東北から北海道ぐらいの緯度でしたね。だからアメリカの避暑地らしいんですけど。

今度は10月に日南学園の生徒たちが行くらしいんですけども、ポーツマス高校にも行かせてもらったんですが、びっくりしたのは全部平屋で2階建てがないんです。土地がたくさんあるから。バレー部が練習試合していて、体育館に入ったら冷房が入っていました。いや、すごいなと。日本は今頃冷房どうするかってやってるんですけどね。そういう形で帰ってきました。

・それから9月12日、今度北郷中学校がですね、シンガポールに8月の頭から行っていたんですけど、その報告に来てくれました。非常にやっぱりこう良い経験をしてきたみたいで、それぞれがしっかりと感想を述べてくれました。

・9月16日、吾田少年野球。これ吾田東小学校の子たちなんですけども、西日本の大会で優勝したってことで、市長に表敬訪問してくれました。

・それから17日に鶴戸山顕彰会役員会。これ剣道大会があるんですけど、その役員

会でした。

・同日 17 日、16 時半から吾田小学校の合唱部が NHK の合唱コンクール、全国大会に出るってということで報告に来てくれました。吾田小学校自体でいうと 8 年ぶりぐらいですかね。平成 29 年以来ね。今の先生の前の先生の時に出了たね。非常にやっぱり生の声を聞かせてもらったんですけども、素晴らしい声でした。

・それから今日、ふれあいコミュニケーションがありました。あとでまたご感想をお聞かせください。

(2) 委員活動報告

【佐藤委員】

先ほどちょっと話しましたが、福祉課が行っている「こども未来共創会議」というのが 16 日に、あそこの教育委員会の上の 5 階でありました。各福祉関係の事業所とか行政の方、福祉課とかですね、あと愛泉会病院の院長さんとかも参加されていて、講師が宮大の竹内元という先生で、教育関係の研究をいろいろとされている方でした。

テーマが不登校支援ということで、学校とそれから福祉の連携ということだったんですよ。いろいろと言われたんですけど、やっぱり学校の現場と福祉とはかなり差があると。いろいろなシステム上の差がまず 1 つ。学校というところは、竹内先生が言われるようにですね、高等文化、言葉でいろいろなことを話し合って伝える文化だと。福祉関係はやっぱりデータとかですね、記録があると。医療関係は特にそうですよね。だから良い面も悪い面もあるんでしょうけど、そこがなかなかこううまくマッチしない。

子どもたちをしっかりと受容的な態度で受け入れられる先生がいる一方でいない先生もいると。そこは教育現場だと何とかなるかもしれないでしょうけど、医療の方だとやっちゃいけないことは絶対やっちゃいけないわけです。だから学校では言葉かけが、本当はこんな言葉かけしちゃう駄目だとか、こんな受け方をしちゃう駄目だっていうのがあるはずなんだけど、学校ではそこは割と多様性というか。教員も個性があるからねで通っちゃうと。あと福祉関係、医療関係は例えば注射打つわけですよ。中に空気入れたまま打っても、それは個性だねという話には絶対に行かないわけじゃないですか。だからそこはきちんとデータとか文書で駄目なものは駄目ってなるんで、そこ辺がなかなかマッチしないところですねっていうようなことを言われたんですけど。ただ、子どもたちの居場所。居場所の話もさっき出ましたけれど、子どもたちにとって良い場所にしようよっていう共通の目標は絶対立てられるはずだと。だからそれに向かってやれることをやっていって欲しいというような話でした。

あと教育学の専門家なんで、いろんな学校回りながらですね、観察したそうです。先生たちを。そしたら不登校とかの問題がやっぱり起きにくいクラスの先生っていうのは共通して挨拶の仕方が違うと。朝おはようとか言う時に、そういう問題とかを上手く。そういったクラスの先生っていうのは、自分からまず挨拶するし、必ずそこにその

子ならではの一言がつくと。昨日はかけっこ早かったねとか、素敵な工作をしてたねとかを一言。で見ると、授業中の発表もただ数でチェックするんじゃなくて、あの子久しぶりに手挙げたなというのをちゃんと把握して当てる。で、あの子はこの前発表して、みんなからそれは違いますとか言われて恥をかいたと。だから今日は当てた後にすかさずフォローを入れて、非難の対象にならないようにするとか。そういうその子を大事にした声かけをやっぱりしてますねっていうことは言われてました。だから、いろいろ不登校に対する問題はたくさんあるんですけど、そういった身近なところにもね、ヒントがありますよっていう話をされて。それはもうまたすごく、すぐまたうちの職員に改めて言わないといけないなと思ってます。

【谷口委員】

9月5日に2025年のベルリンリングに参加して参りました。ものすごく感動して、午後3時47分に一緒にベルを鳴らしますっていう話を聞いて、ええと思って。もう日南学園の生徒さんもたくさんいた中で、ベルが1つつ渡って行って、副市長が促して下さったんですけど、何かこう、大事なこの時間にみんなで一緒にことができ、それでそのポーツマスの社会の教科書に絶対出てくるような条約調印のところに自分が参加してるみたいなのがなんか妙に嬉しくて、もうずっと鳴らしていたかったけれど、その時間も決まってる中で、学生の皆さんもされていて、とにかく感動したなっていう思いがありました。

【八木委員】

私はこないだ平和教育の話があったんですけど、日南高校で。日南の特攻隊展示があるということで、テレビでやっていたので行ってきました。本当にやっぱり何ていうか、胸が締めつけられるようでしたね。遺書とか本当に調べられててですね、そういうこともちょっといろんな人に伝えられたらいいのかなと思いました。

それから9月1日は環境審議会に参加してきました。学校教育課では環境教育の実施。生涯学習課では美しい景観環境づくりを行うための文化遺産を生かしたまちづくりということが計画に上がってましたけど、本当に今年は暑くて。温暖化大変だなと思ったんですけど。これからの予想でも温度40度とか言われてますよね。そうすると本当に野外活動もできなくなるし、教育も大事なんですけど、そういうことに対する対応っていうかね。それも本当に必要だし、そういうことをちょっと真剣に取り組まなきゃいけないのかなというのを強く感じました。今でさえ暑いのに40度になったらどんな時代が来るんですかね。想像ができないですね。

【都甲教育長】

ベルリンリング、本場でしてきたんですよ。場所が街中のね、教会のところであって、すぐそばだったんですよ。3時47分からじゃないですか。だけど早くみんな集まるわけ

ですよ。20分、25分ぐらい。それぞれスピーチするわけですよ、州知事とかですね。なかなか言葉は分からないんだけど多分ね、雰囲気で他誰か言わないとまだ時間あるよとかやっていて、3時47になって鐘が鳴るわけですよ。教会のすぐそばの大きい鐘が終わるまでずっとやってるんですよ、5分ぐらい。本場は長かったですね。その時には50、60人くらい集まってましたね。そして年配の女性の方がずっとやり続けてきて、今回から変わろうっていうことで、今度は新しい男性の方がやってるみたいです。

実際に条約が決まった時には、海軍のところにあった、船か何かは不明なんですけど、なんか鐘があったっていうことらしいんですよ。だからベルリンリング。

そしてなんで町の人たちがそれぐらい入れ込んでいるかというと、毎回必ず他のものはまとまるけども、例の賠償金と関税自主権だけはいつも物わかり悪く終わるらしいんですよ。なかなかまとまらないっていう。その時に日本とロシアが喧嘩別れしちゃいけないので雰囲気づくりしようって、ソフトボール大会をしたり、バーベキュー大会をしたりしてましたと。それぐらい関わってたんですよ。だから自分たちにとっても、何かあれをまとめる手助けをしたっていうのがあったんでしょう。

そして小村の次席っていう人物についての話も聞きました。次席、つまりその補佐をする人がいたらしいんですよ。なんでそんなに詳しいかというと、話してくれた人の出身が次席の人と一緒に、岩手だったらしいです。大谷と一緒にの出身。その隣町の出身らしくて、次席の人が。だからその人たちにとっては小村が有名だけど、その次席の人も有名なんだよ、働いたんだってことは岩手の誇りなんだろうと。やっぱり写真を見るとちゃんと写ってるんですよ。小村の隣にね。

9 前回の議事録承認

第5回の議事録について了承

10 議事について

議事1 ふれあいコミュニケーションについて（ふりかえり）

| | |
|--------|---|
| (別府委員) | 教頭先生とのこういった場を設けていただける機会というのがなかなかなくて、やっぱり学校ごとで持たれてる課題とか、PTAのあり方とか、各学校で状況というのが本当に違うんだなと感じたところ。教頭先生の思いとか学校側の思いを会長さんたちが知れば、うまい形でいくのかなと思いました。先生方が前向きに考えてくれているっていうのは非常に良かったと感じていて、今後もっともっと盛り上げていただけたらと思うんですね。双方の意見を踏まえて、環境を作っていただければと思いました。 |
| (佐藤委員) | やっぱり一生懸命いろいろと苦労されて、工夫しながらされてる |

| | |
|---------|--|
| | <p>んだろうなと思って。課題がやっぱりその職員がね、昨日のニュースでしたっけ。なんか採用試験で、もう今の段階で定員を満たしていない。60人不足とか言ってましたね。これから大体辞退者が出るわけじゃないですか。どうしようって感じですね。だから本当に昔のあり方をやっぱり、急には難しいですけど学校にしてもPTAにしても、授業のあり方なり、学習の進め方も含めてですね。変わっていかないと。職員は足りないとなるとどうしても対応が難しい。でも子供たちは多様化が進んで、もっと人手がいる。保護者の方のもう昔とちょっと変わってるから、昔のように協力をついていうと、ちょっと違うよっていうところも出てくるわけですね。どこからっていうのがね、なかなか難しいですけど。</p> |
| (都甲教育長) | <p>私はやっぱり現有勢力ですよ、今の先生方をやっぱりもっともって資質を上げなきゃと。先ほど仰ったようにインクルーシブ教育なんかも、結局先生だと思うんですよ。やっぱり対応できる先生でないとなかなか難しいし、私が校長の時に見ても、特別支援の先生ってちょっとやっぱり大変だなって。力量を身につけないと子どもたちはなかなか面倒見切れないだろうなと思ってですよ。やっぱり力量を上げていく必要があるのかなあって。</p> |
| (佐藤委員) | <p>そうですね、そういう意味ではカメラ設置も検討していいんじゃないかなと私は。いろいろ問題の抑止効果もあるし、研修でも使えるんですよ。うちの幼稚園でもやっぱりあるわけですよ。ちょっと、あれはどうなのっていうことね。だけど職員同士ではやっぱり言えないわけですよ。その時に悪いやつはあまり使えないけどですよ。良い対応をしたねっていうやつは、いつごろの話でって録画を見直すとちゃんと映っているわけです。なるほどねって、こう良い対応をしてるねって研修で使うんですよ。そうすると具体的にこういう時はこういう対応があって、だからさっきのはどうする、次はどうするって。こうやって1つずつプログラムを作っていけるんですね。そういうのに使えるんですよ、カメラ。</p> |
| (都甲教育長) | <p>カメラはこども家庭庁もちょっと遠慮して、教室の中には置かないって。教室のことは出さなかったんですよ。廊下っていう話。やっぱり難しいですよ、実際置くとしたら。</p> |
| (佐藤委員) | <p>難しいんですけど、議論ぐらいいはですね。先生たちも今すごく助かるって言うんですよ。前の話だけど、保護者からですよ。うちの子は持っていったはずなのに、タオルを持って帰りませんでしたと。どっかなくなってませんかとか言われた時に、誰かに取られたとか</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>子どもが、ちょっと自己防衛でね。自分がなくしちゃってまずいと思ったときに、誰々ちゃんにとられたとか嘘言ったりするんですよ。そこで保護者関係がぐちゃぐちゃしてくるんで。そこでカメラを見たら、その子が間違えて隣の子のロッカーに入れてるのが写ってたりするわけですよ。その後に確認したら、ほらあったって。その後に何でそんな取ったとか嘘言ったのってということで、本質的なところにアプローチできるんで、助かってますよね。</p> |
| (都甲教育長) | <p>そういうふうなのが進んでいって、育成はどうなのかなっていうのもありますよね。カメラがある。これで解決する。でもその後の人間関係とかですよ。突き詰めて、やっぱり嘘言ってたねって。その子は立つ瀬がないですよ。</p> |
| (佐藤委員) | <p>だからその嘘ついたその背景のところですよ。何も嘘つく必要はなかったよねって。なんで嘘ついてしまったかな。お母さんが怖かったとかね。</p> |
| (都甲教育長) | <p>正直カメラ導入っていうのはここまで来たかっていう、いよいよ来たかっていうのがあって、私個人的にはやっぱり難しい段階に来たなあってもう簡単にはそんな決められないからですよ。十分論議していかないといけないし。</p> |
| (佐藤委員) | <p>だから議論があってもいいんじゃないかなと思いますね。難しい面もあるでしょうし。</p> |
| (都甲教育長) | <p>そこら辺はもうお互いみんな分かりつつですよ、話をして。大事ですよ。</p> |
| (佐藤委員) | <p>だからやっちゃいけないことはやっぱりやっちゃいけない。医療現場で絶対それは認められないことが、さっきの竹内先生の話では学校ってなんかなあなあで、密室。俺のクラスなんだから、みたいなことでオープンになってないと。医療福祉現場で絶対それは許されませんって。そんな対応しちゃ駄目だよっていう。</p> |
| (谷口委員) | <p>今回初めてだったんですけど、私自身も教頭先生に小学校中学校時代山ほどお世話になっていたので、教頭先生のお話をすごく楽しみにしていました。やっぱりお話の中で、先生がいなくなってしまうかもしれないという保護者と子どもの不安や、教員が不足してるっていう話ではうわーって思うこともやっぱりあって、先生たちはどんなふう考えてるのか今日聞きたいなと思ったけど、しっかり教育しなきゃいけないとか、多様性もあっていろんな生徒さんの対応をみんなですれてるっていうのでちょっと安心したなっていう部分がまず1つ。それともうPTA活動は本当に耳が痛いところもあり</p> |

| | |
|---------------|---|
| <p>(八木委員)</p> | <p>ました。</p> <p>けれど多くの意見や考えがある中で、二重マルを目指すのも良いけど、皆の意見を合わせてマルでいいんじゃないのかなっていう話を教頭先生がされた時に、お互いがちょっと歩み寄っていけば、もしかしたらっていうのもあるのかなっていうのを思ったので、今度の3役会ではちょっと手を挙げて発表していきたいかなというふうに感じました。</p> <p>PTA についてせっかくいろいろやらせてもらってるので、たくさんの人にもっと PTA 活動を理解して欲しいなっていうのが私の中でのやっぱりずっと課題なので。PTA を勘違いしないでって。何かいろいろ出なきゃいけない、やらなきゃいけないじゃなくて、いろんなところに逆に話を聞きに行けるんだよとか、そういうところもお母さんたちに伝えていきたいなと思ったところでした。</p> <p>今回で一番考えたのは、やっぱりテーマにもあった PTA 活動についてですね。本当に希薄になっていっている危機感というか、それをすごく感じました。私たちの時代は本当に PTA 活動が楽しくて、クラスの子供のほとんどの顔はわかっていたし、何か問題があった時にすぐに親が対応できる。だから、そういうのがどうやったら復活するのか。先生方も活動しやすい環境づくりのためにどうしたらいいのかなと。私も勉強したいと思います。</p> |
|---------------|---|

議事 2 県外先進地視察について

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>(武田主任主事) (都甲教育長)</p> | <p>令和7年度県外先進地視察について説明。</p> <p>玖珠町の教育委員会の方々にも非常に歓迎していただいております。夕方からもぜひ意見交換会をしたいということで。谷口委員はすみませんね、朝7時出発ということで。早めに出てきてもらって。</p> |
| <p>(谷口委員) (都甲教育長)</p> | <p>とんでもございません、大丈夫です。</p> <p>どうやら次の日の5日に中学校が何か行事があるらしいんですよ。こちらとしては都合が悪ければ中学校はなしで説明だけでもという話だったんですけど、いや、ぜひやっぱり見ていただきたいということで向こうの教育委員会の方から連絡をいただいたものですから、ちょっと急なんですけど、朝の時間はですね。よろしいでしょうか。何か質問はありますか。</p> |

| | |
|---------|---|
| (佐藤委員) | ICT のどんな取り組みをされているかについて、ちょっと事前に何か資料があればと。 |
| (都甲教育長) | 町が ICT の指定を受けていたんですね。来月の定例教育委員会くらいに出せるようにしたら良いですかね。それではそのように来月の教育委員会で資料をお渡しします。 |

議事 3 他課との意見交換会について

| | |
|-------------------------------|--|
| (武田主任主事) (都甲教育長) | 他課との意見交換会について説明。 去年はこども課で、子どもに関する議題だったんですけど、皆さん自身の視野を広める意味でもあんまり教育に拘らないで、他のいろいろな課に。話を聞いてみたいという課があればそれを書いていただいて良いです。例えば、東九州自動車道伸びてるけど今後どうなるのか、日南の経済は、とか。福祉の方とか、また高齢者の方についてはどうだとかですよ、そういうので何かあれば。指名があった課は喜んで来てくれると思うので。 |
| (佐藤委員) (都甲教育長) | 未来創生課とかは人口を。 そうそう、未来創生課はそういうのを一丁目一番地みたいな感じでやってるからですよ。少子化をなんとかせんといかんって。 |
| (八木委員) (都甲教育長) | 危機管理も大事ですよ。 いろんなところが選べるからですよ、迷われると思いますけど。ぜひ何かそういう興味があるところに。 |
| (佐藤委員) (鬼束教育部長) (都甲教育長) | ふるさと納税とかはどこがやってるんですかね。 商工政策課ですね。ふるさと応援係ですけど。 なんか選ぶのが楽しいですよ。 |
| (別府委員) (都甲教育長) | この組織一覧はありがたいですね。 ぜひまた参考にしてみてください。それではまた 10 月 3 日までに回答をお願いします。 |

1 1 その他

(1) 10 月行事予定について

(2) 第7回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和7年10月23日（木） 午後3時から
- ② 場所 日南市役所・別館2階会議室5

(3) その他

【重永課長】

ちょっと残念なお知らせなんですけれども、生涯学習課の自行事で「未来のリーダー養成宿泊体験事業」というものを9月の6日から7日で、むかばき青少年自然の家ですね、延岡にあります。そちらで子供たち、小学生13名を連れて行きまして、いろいろな体験活動をさせていただいたところなんです、その帰りですね。宮崎南インターチェンジ付近で事故に遭いまして、うちのわかすぎ号で。怪我人は幸いにもいなかったところではあるんですが、わかすぎ号が今2車線化の工事をしているところの中央の車線と左の車線の間にですね、樹脂製の赤いブロック。水を入れた緩衝材が置いてあるんですが、それを2個はね飛ばしまして、結果横転とかそういったことはなかったんですが、ドーンと。コンクリートブロックじゃなかったのが幸いして大きな衝撃はなかったんですが、2個目をちょっとフロント部分に巻き込みまして、ラジエーターが破損してしまいました。それにより一緒に同行していた別の公用車にてピストン輸送を行い、子どもたちは市役所まで送り返しました。レッカー移動や事故処理とかの対応もありましたが、事故直後すぐに保護者の方に連絡を入れまして、そういう対応をしたところなんです、今回は幸いにも大きなけがはなかったと。ただしお二人の児童に関しては、念のため病院の受診をされるということで。診断結果が事故によるものなのかどうかっていうのはまだ判明してない状況なんです、若干違和感を感じるっていう程度の症状だったという話はお聞きしております。

事故原因についてですが、ドライブレコーダーや運転手の証言、同行者の証言等を聞く限りは、居眠りによるハンドル操作の誤りというよりも、気の緩みで前方不注意ですね。車線に近い間にあっただけで、知らず知らずに右の方に寄ってたんじゃないかと。警察の見立ても居眠りというより、本当に前方不注意なのかなと。ずっと直線で、その同じ景色で同じ感覚で動いているので、ぼうっとしてたんだろなあ。運転士さんもものすごくショックを受けられてですね、子供たちにけがをさせるんじゃないかっていうところで、ぶつかった瞬間にハンドル操作にものすごく気を使われたっていう話は聞いております。幸い大怪我とか、そういったところに繋がらなかったのがもう幸いなかなあと思っております。今後も運転士さんを含めてですね、うちの課の職員には公用車に限らず、自動車を運転する際は、疲れた時には休憩するとか、いろんなそういう処置をとるように万全の注意を払ってくださいねと伝えております。

ちなみにこの日は川南のパーキングエリアで休憩をとったうえで移動されてたということで、子供たちがものすごくバスの中で騒いでいたので、静かにねって注意をしたということで、しばらく静かにしてたなかの事故なので、ぼーっとしてたっていうのがあるの

かなあと。本当に大きな事故に繋がらなくてよかったなと思います。

また、わかすぎ号は修理にかなりかかるんだろうなと思いますが、その部分は修理で済んだから良いと、そういうふうに割り切らなければと思っております。参加された子どもさんの保護者の皆様には多大なるご心配とご迷惑おかけしたことにつきまして、報告をさせていただきました。

また別件となりますが、皆様のご家庭には回覧版等で届いたかと思うんですが、今度は自衛隊の音楽隊ではなく、12月21日に「あばれる君の熱血教育」というイベントがあります。こちらの料金は大人が1500円、子供が500円ということで、2人でも2000円の格安チケットで、もうすぐ販売開始の案内が始まると思います。チラシには入っていたかと思うんですが、ぜひ12月21日、ご興味がある方はご参加チケットの購入をよろしくお願いします。

12 閉会